

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成26年2月25日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)の点検後の確認試験時に、動弁への注油圧力が低いことを示す警報の発生、並びにバックアップ用の動弁注油電動ポンプの自動起動を確認した。当該事象の原因を調査。なお、当該非常用ディーゼル発電機自体の発電機能に影響はない。【平成26年2月24日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2013/pdf/26022401p.pdf	G III 以下

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	雑用水系ポンプ(B)グランドリークの排水配管に詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	
2	1号機	非常用ディーゼル発電機(A)の定例試験時、空気貯槽用の圧縮機が自動停止せず、空気貯槽の安全弁が動作したことを確認した。当該圧カスイッチを点検・修理。	
3	1号機	原子炉建屋地下4階計装用圧縮空気系供給配管の配管結合部から空気漏れ(カニ泡程度)を確認した。当該接合部を点検・修理。	
4	3号機	管理区域退出モニター用検出器の異常を示す警報の発生を確認した。当該モニターを点検・修理。	
5	4号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)ベーンダンパ(冷媒流量を調節するもの)の全閉リミットスイッチの動作不良を確認した。当該スイッチを点検・修理。	